

## 災害とお寺と

三月の同朋会では東日本大震災の追悼法要としてお勤めをしまし  
た。三月十一日には、「勿忘の鐘」と名付けられた追悼の鐘を震災発  
生時刻に撞鐘し黙祷しました。どちらにもご参加くださる方があり、  
有り難いことでした。十三年が経つてはいますが、あの時誰もが負  
った傷はなくなるということではなく、その上に歳月と共にいろい  
ろな出来事が降り積もって年を重ねていくということなのだと思  
うと感じています。

同朋会では住職が一月に行った能登半島での支援活動についての  
報告がありました。真宗寺院が多い土地であり、過疎化高齢化が進  
む地域の被災でその被害の全容はまだまだわかりかねるようです。  
元日のことだったため、ご門徒さんが集まり修正会勤修の後、歓談  
していたお寺もあつたようで、新たな年の始めの穏やかな夕方に、  
まさか、の思いが強かつ  
たことでしょう。被害の  
写真に十三年前が思い出  
されてとても他人事とは思  
えませんでした。今は  
どんなことに困っている  
のか、被災者の話を聞き、  
継続的な支援を続けてい  
きたいと思えばかりです。



### 東日本大震災追悼法要・勿忘の鐘

# 徳とく泉すい寺じ報ほう

No. 77

発行

令和6年3月

発行元 徳泉寺

仙台市宮城野区

榴岡3-10-3

(022)297-4248

[tokusenji.send](mailto:tokusenji.sendai@gmail.com)

[ai@gmail.com](mailto:tokusenji.sendai@gmail.com)



### ホームページ

tokusenji-

sendai.com



### Instagram

tokusenji.sendai



TOKUSENJI.SENDAI

住職は真宗大谷派の全国組織のボランティア委員に就いており、昨年『ご門徒さんと考える〈寺院〉のための災害対策ハンドブック』の発行に携わりました。その中で皆さんと共有したいものを紹介します。

### 災害に遭ったら・・・10の行動手順

- 1 自分のいのちを守る行動をとる
- 2 家族や周りの人の命を守る手助けをする
- 3 火の始末・ブレーカーを落とし、安全な場所へ移動する
- 4 ケガ人の手当て、救助活動
- 5 近隣の安全確認
- 6 状況に応じてより安全な場所へ移動
- 7 警察や消防、市区町村役場への支援要請
- 8 水・食料の確保
- 9 寝泊りできる場所の確保(避難所・車中など)
- 10 後々の「り災証明」発行や保険の手続きのために、  
**被害状況の写真を撮っておく**

とっさの時には心も体も硬直して思う様に行動できません。前もって訓練したり家族で話し合っておくことをお勧めします。万が一の時、お寺も避難場所のひとつとして機能できる備えをしたいと思います。